

2007年3月期
第1四半期決算説明会

2006年8月3日
ヤマハ株式会社

2007/3期 1Q決算の概要



- 売上高は、対当初予想微減。前年同期との比較では26億円の増収となるものの、為替影響(33億円)を除けば実質微減。
楽器……為替影響を除けば、ほぼ前年同期並み。対当初予想では減収。
AV・IT、電子機器・金属、リビング……対前年同期減収。対当初予想では増収。
- 営業利益は、中核事業の楽器、AV・IT、電子機器・金属が対当初予想増益となり、全体では、ほぼ前年同期並みの利益水準。
- 主としてユーロ高に伴う1Qでの営業利益への為替影響は対当初予想+5億円、対前年同期+9億円
- 1Q末在庫は、ほぼ前年同期並み水準。為替影響(30億円)を除けば実質減少。対当初予想+56億円の増加。
楽器は、ほぼ当初予想並みの水準となったが、AV在庫は、生産能力面からの一部前倒生産もあり増加。

2007/3期 1Q業績概要



▶ 当初予想(4/28)に対しては増益。売上高は当初予想並み
前年同期実績に対しては増収、営業利益横這い

(億円)

	06/3 (1Q) 実績	07/3 (1Q) 実績	前年同期比	当初予想	当初予想比
売上高	1,241	1,267	+ 2.1%	1,269	▲ 0.2%
営業利益	69	67	▲ 2.1%	38	+77.1%
経常利益	116	127	+ 9.2%	71	+78.4%
当期利益	98	100	+ 1.9%	65	+54.2%
持分法損益	53	64		39	

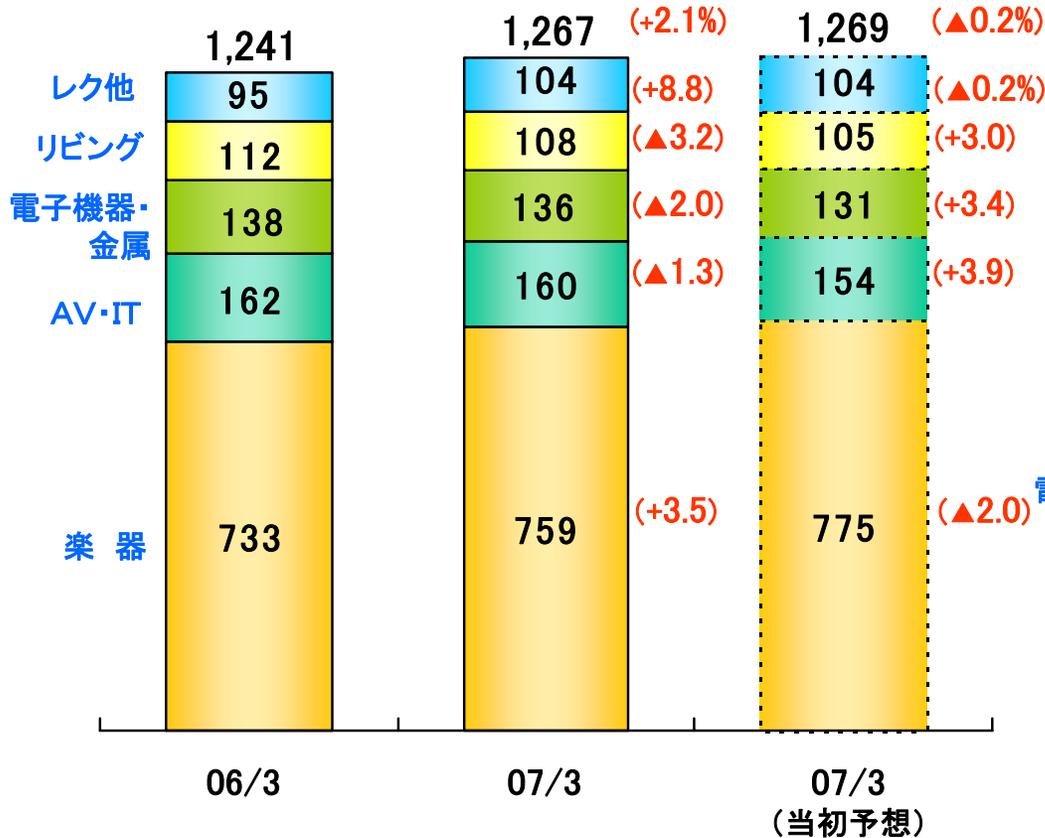
為替レート

売上高	US\$	108	115	115
	EUR	135	144	134
利益	US\$	107	115	115
	EUR	134	139	134

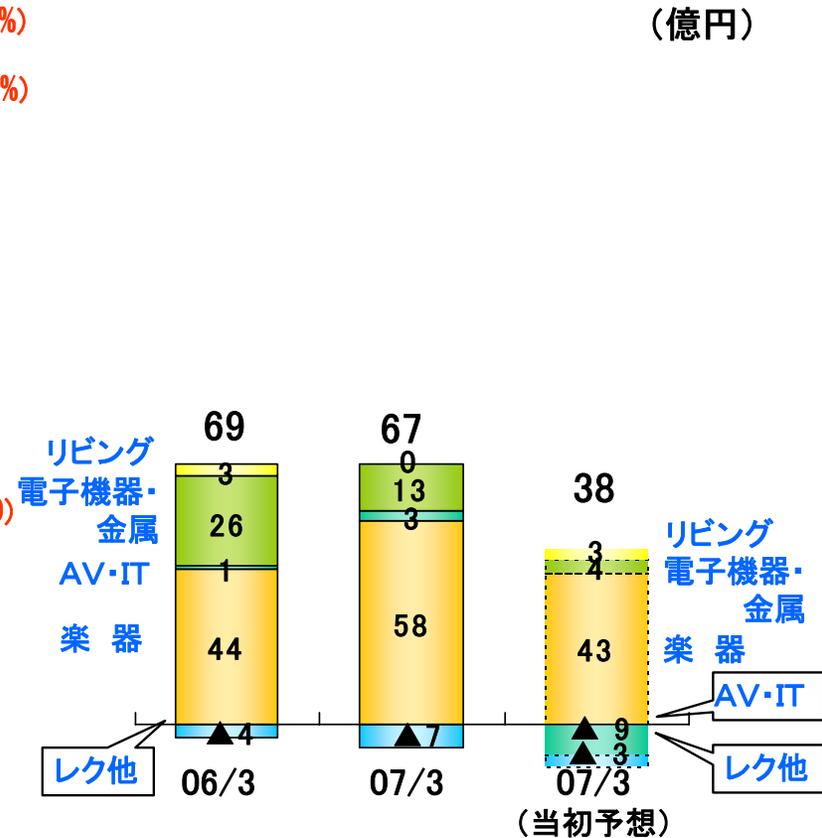
2007/3期 1Q事業別業績



売上高



営業利益



(億円)

()内は前年同期比
または
当初予想比

前年同期との比較での為替影響は+33億円
(楽器+25億円、AV・IT+8億円)
また、当初予想との比較では+13億円
(楽器+10億円、AV・IT+3億円)

前年同期との比較での為替影響は+9億円
(楽器+10億円、AV・IT▲1億円)
また、当初予想との比較では+5億円
(楽器+3億円、AV・IT+1億円)

2007/3期 通期業績予想



➤ 通期業績は今回見直しをせず当初予想通り

(億円)

	06/3 (前年実績)	07/3 (予想)	伸び率
売上高	5,341	5,460	+2.2%
営業利益	241	250	+3.7%
経常利益	352	350	▲ 0.6%
当期利益	281	280	▲ 0.4%

為替レート

売上高

US\$
EUR

06/3
(前年実績)

113
138

07/3
(予想)

115
134

利益

US\$
EUR

113
135

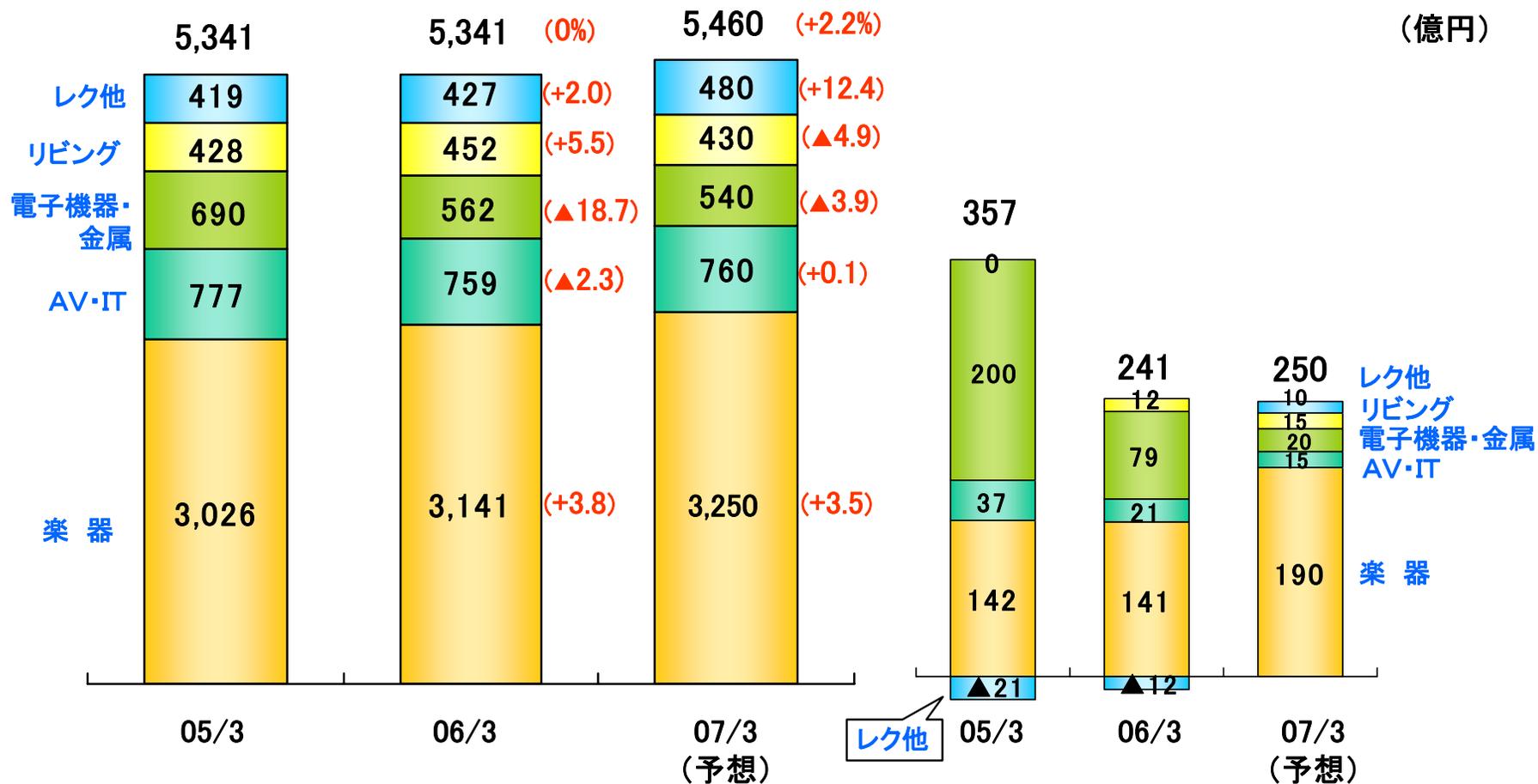
115
134

2007/3期 通期事業別業績



売上高

営業利益



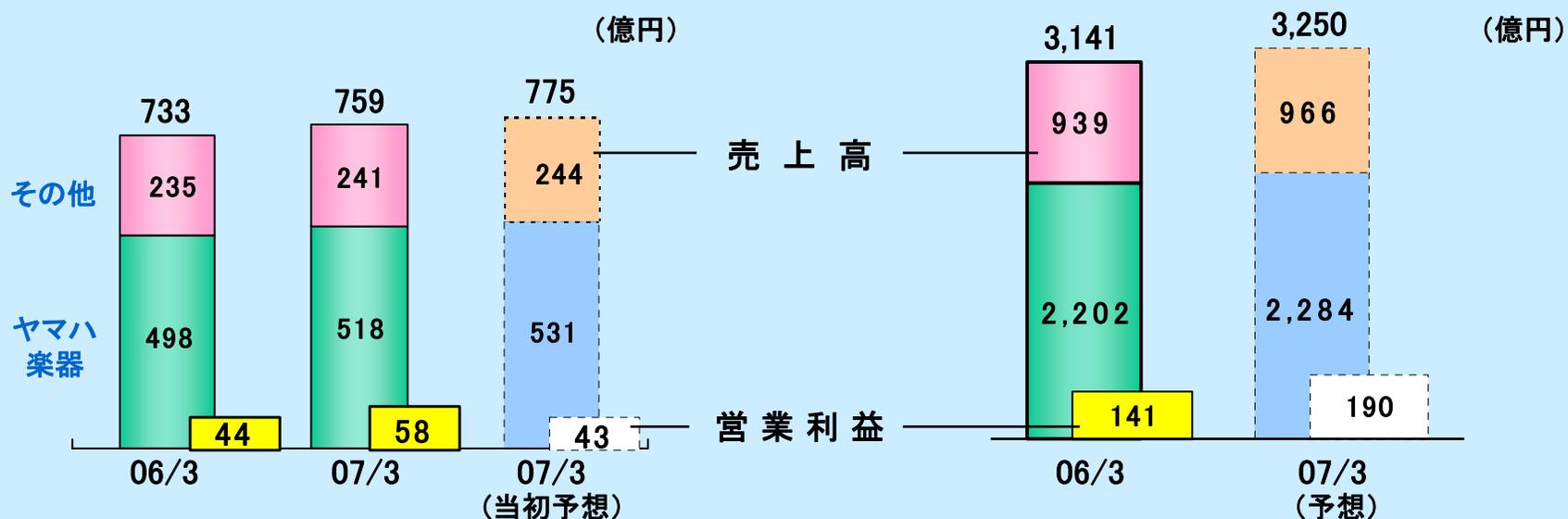
()内は前期比

1Qの状況

- ・ 為替影響を除いた1Qの実質売上高はほぼ前年同期並みとなったが、当初予想に対しては、▲3.3%の減収。特に欧米で期待値を下回っている。韓国、中国は好調継続。
- ・ 商品別には管楽器、PA機器が好調継続
- ・ 1Q末在庫はほぼ計画レベル。前年同期との比較では為替調整後で実質38億円の減少

通期の予想と重点施策

- ・ 年末商戦に合せた新商品の確実な市場導入
- ・ CAビジネス強化拡大
- ・ 米国市場での挽回、欧州市場は主要国でのシェアアップと拡大EUでの増販政策推進
- ・ 国内は市場変化への対応強化
- ・ 拠点再編を含めた製造構造改革推進



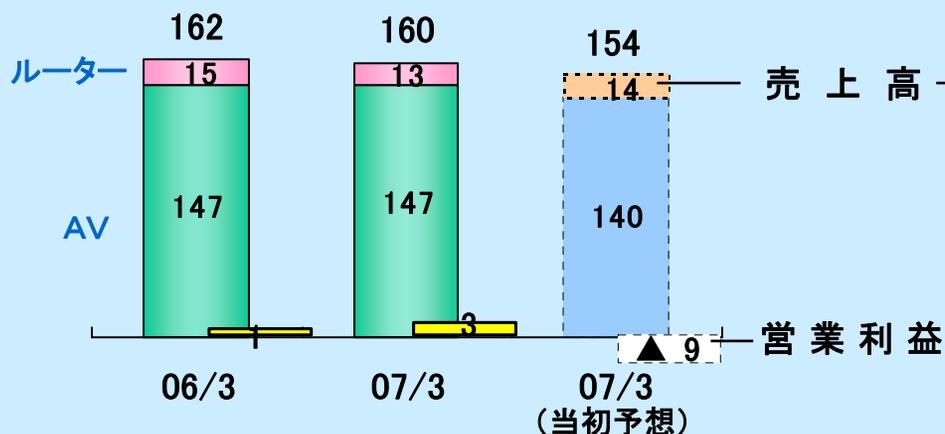
1Qの状況

- ・ 為替影響を除いた1Q実質売上高は当初予想に対し+1.9%の増収。前年同期との比較では▲6.3%の減収。AVは国内販売厳しいものの欧米順調。ルーターは競争激化
- ・ YSPIは、出荷順調(1Q売上高14億円)
- ・ 1Q末在庫は一部前倒生産もあり当初予想、前年同期に対し増加。

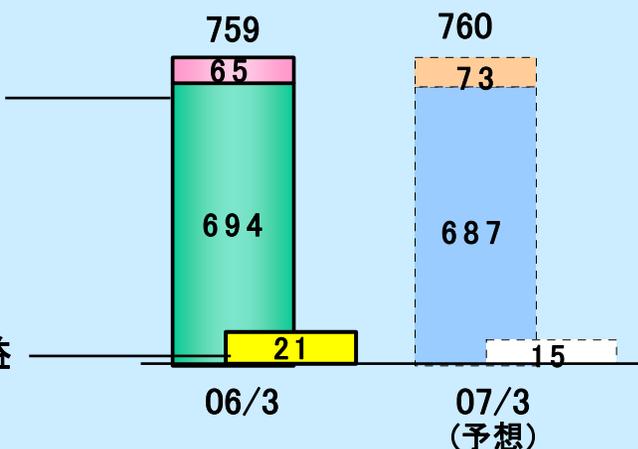
通期の予想と重点施策

- ・ AV事業の成長継続
YSPビジネス強化拡大
AVレシーバー拡充
HiFi商品拡販
新領域商品の市場導入
- ・ ルーターは商品ラインナップ強化で着実な成長を目指す
- ・ 会議システム販路開拓

(億円)



(億円)



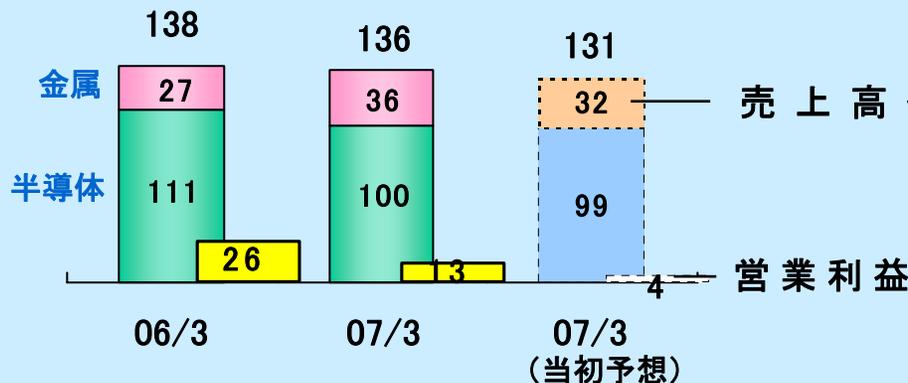
1Qの状況

- ・1Q業績は、当初予想に対し増収増益となったものの、対前年同期では営業益半減
- ・携帯電話用音源LSIは、需要の一段の減少
- ・電子金属は、数量ベースで期待を下回るものの材料価格の上昇に伴う価格転嫁により対当初予想増収。営業増益

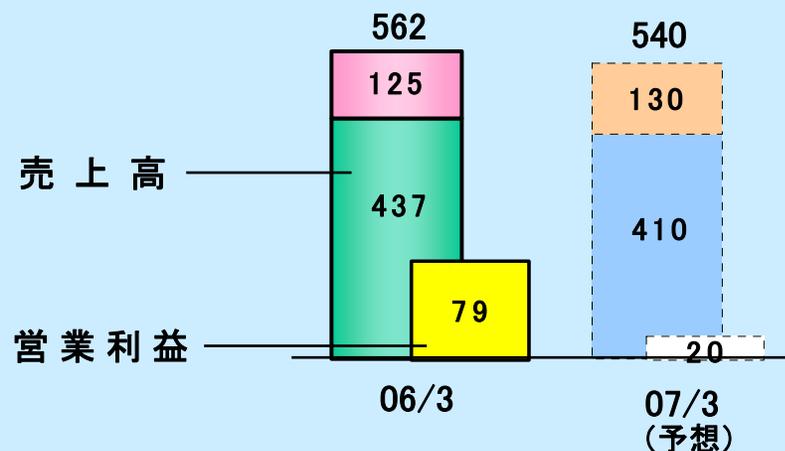
通期の予想と重点施策

- ・付加価値の高い携帯電話用音源LSIシフトによる売上確保
- ・アミューズメントなど携帯用以外の既存LSIの増売
- ・市場環境に合わせた新デバイスの開発
- ・電子金属材料市場は当初予想に対し、緩やかな回復。製造原価低減継続による収益力強化がテーマ

(億円)



(億円)

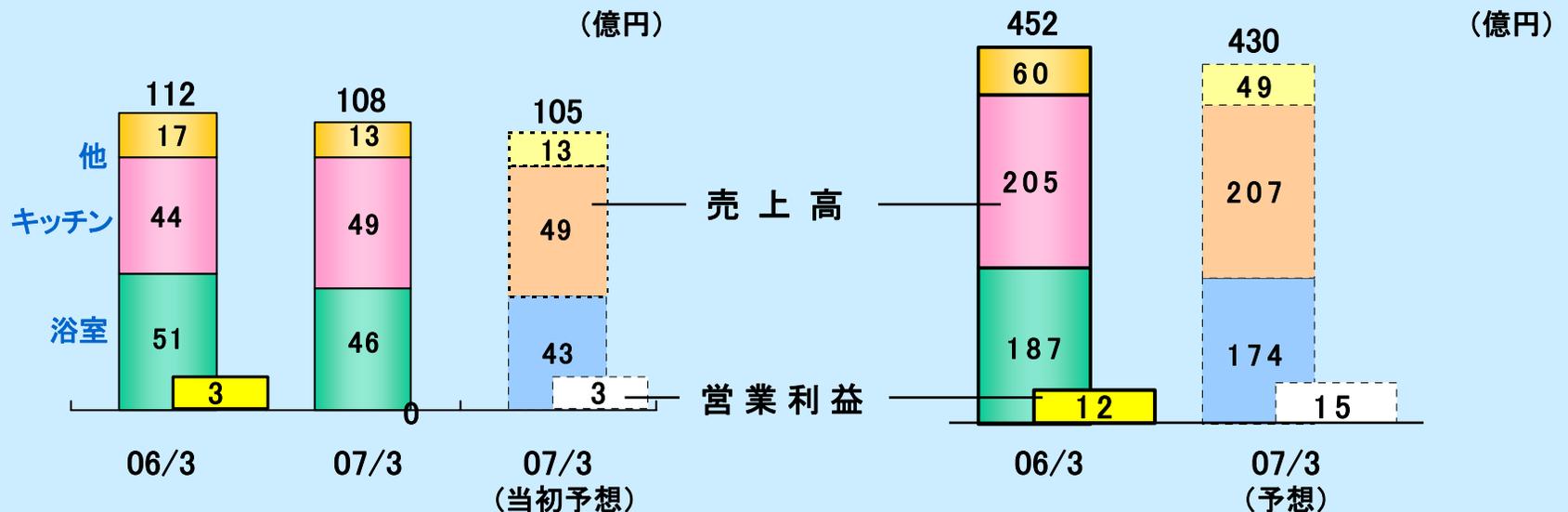


1Qの状況

- ・ 1Qは売上高は当初予想を上回るものの価格競争激化し、営業減益
- ・ キッチンが引続き好調維持
浴室は当初予想を上回るものの低価格化進行し、前年同期を下回る

通期の予想と重点施策

- ・ 秋の新商品の確実な市場導入
普及価格帯キッチン
マンションリフォーム用浴室
- ・ 拡大するリフォーム市場対策強化
- ・ 製造コストダウン推進と品質向上

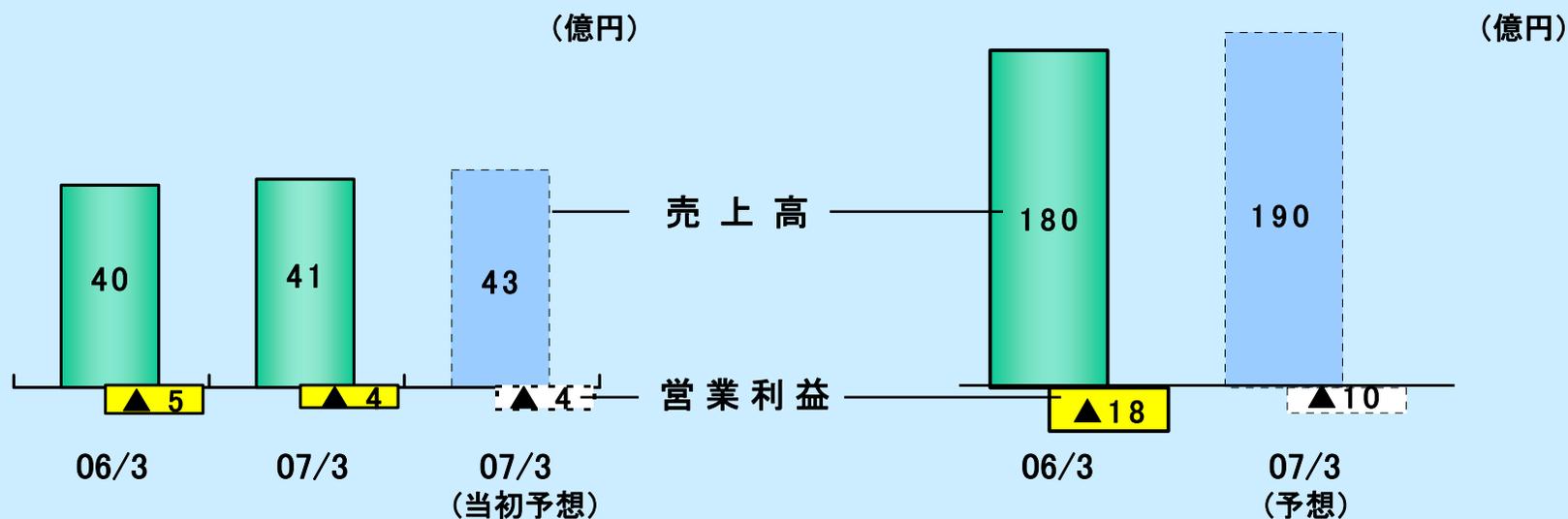


1Qの状況

- ・ 1Q売上高は期待値を下回ったものの対前年同期では、宿泊、日帰り客数とも増加。ゴルフ、ブライダル減少
- ・ 営業損失幅は対前年同期縮小。増収に加え、減価償却費が減少(▲1.2億円)

通期の予想と重点施策

- ・ 集客数増加による増収に加え、一段の経費合理化、減価償却費の減少効果で損失幅圧縮を目指す



その他事業

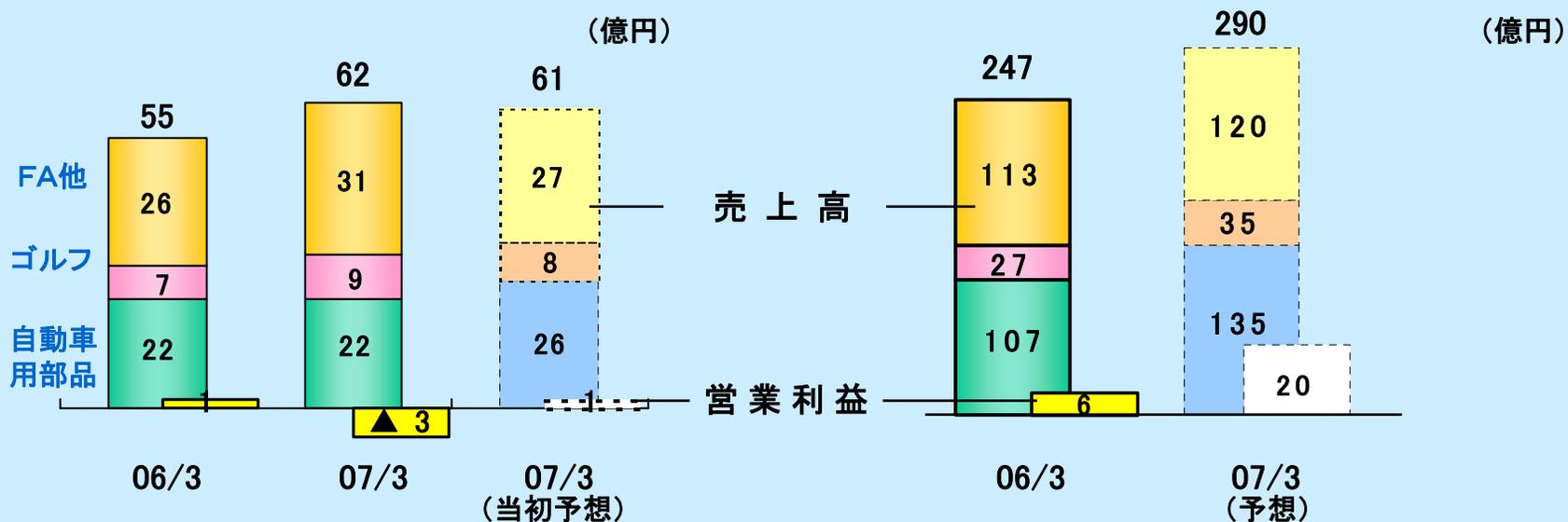


1Qの状況

- ・ ゴルフ、Mg部品は対当初予想、対前年同期とも増収
ゴルフは韓国、香港向け出荷増
- ・ 自動車用内装部品は受注減少。主力完成品メーカーからのオーダー先送りで対当初予想減収
- ・ 自動車用内装部品減産に伴う売上総利益の悪化で対当初予想営業減益

通期の予想と重点施策

- ・ 通期業績の達成は自動車用内装部品の生産量確保がポイント
- ・ Mg部品は製造原価低減に注力

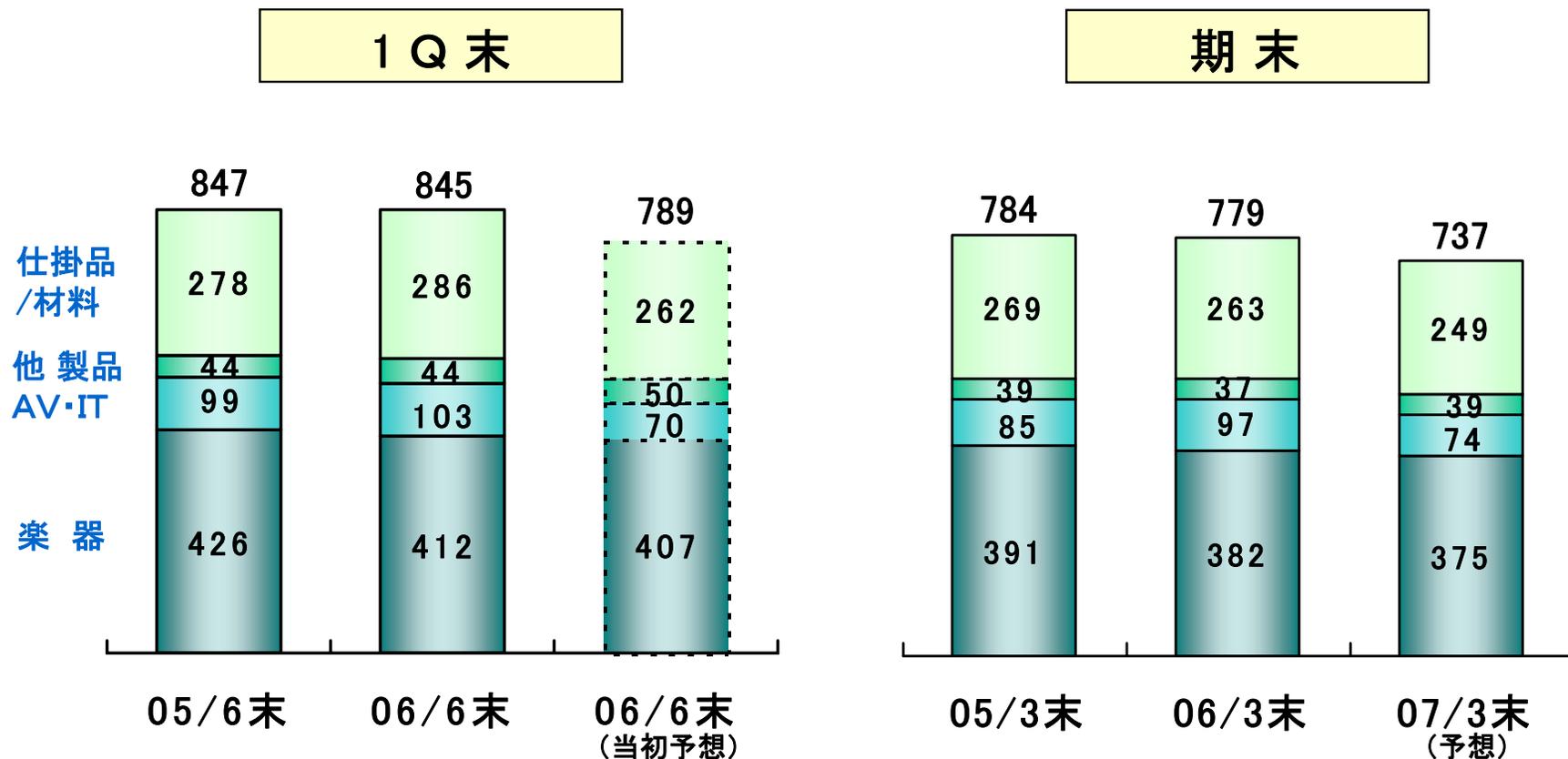


棚卸資産



➤ 1Q末在庫は当初予想に対し増加。
 楽器はほぼ適正水準。AVが在庫増。

(億円)



* 1Qでの為替影響
 対前年同期+30億円(楽器+24 AV・IT+6)
 対当初予想+14億円(楽器+9 AV・IT+5)

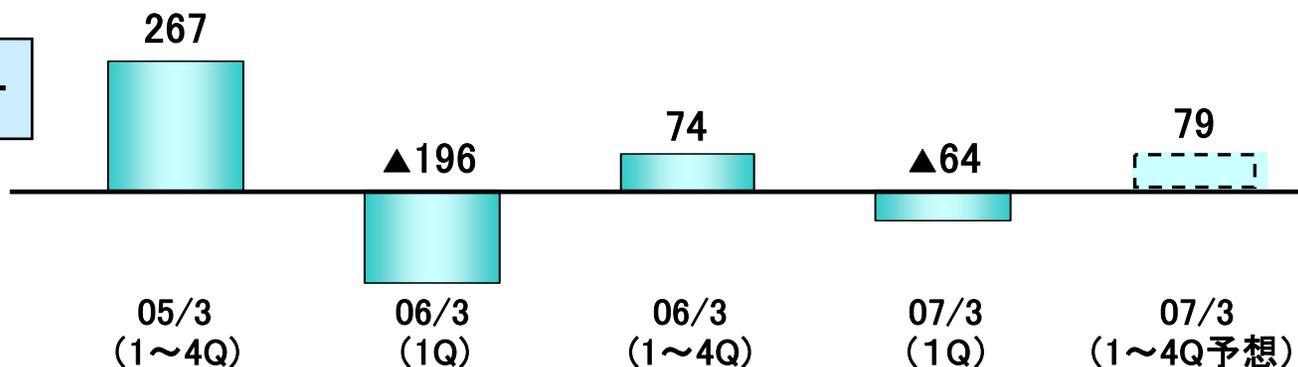
付属資料

実質有利子負債



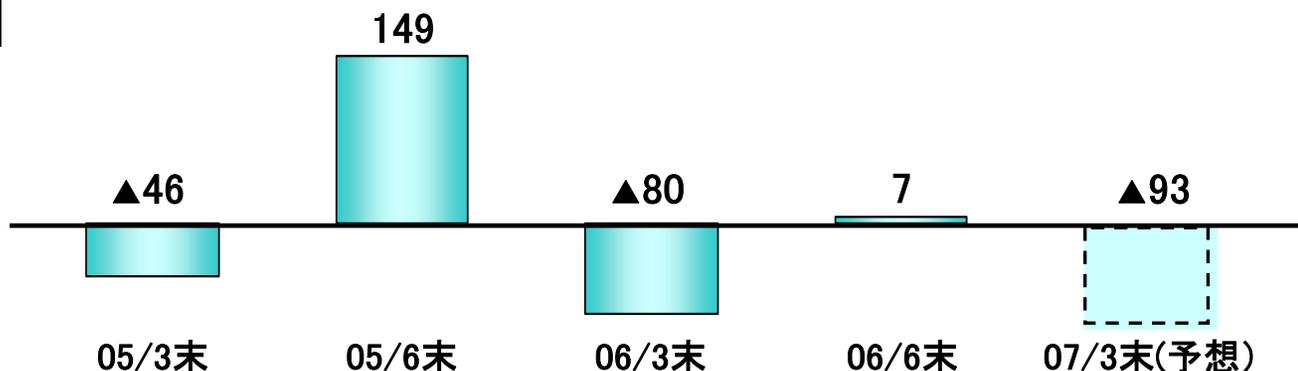
(億円)

フリーキャッシュフロー



実質有利子負債

長短借入金 — 現預金



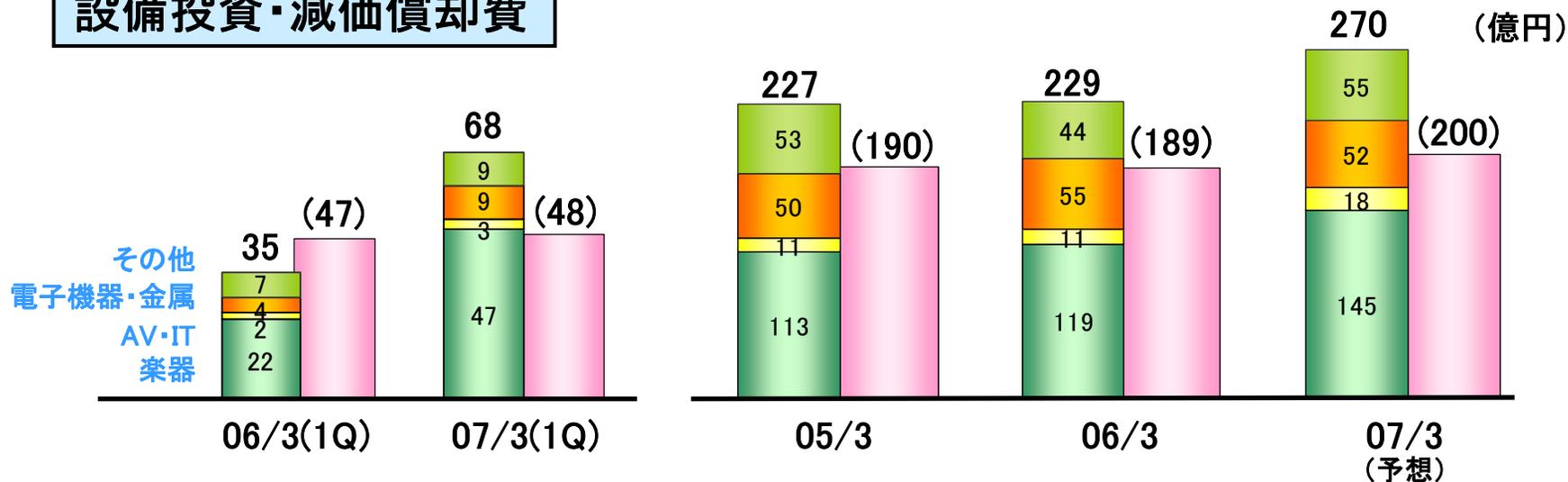
* 上記の他に

リゾート預託金残高

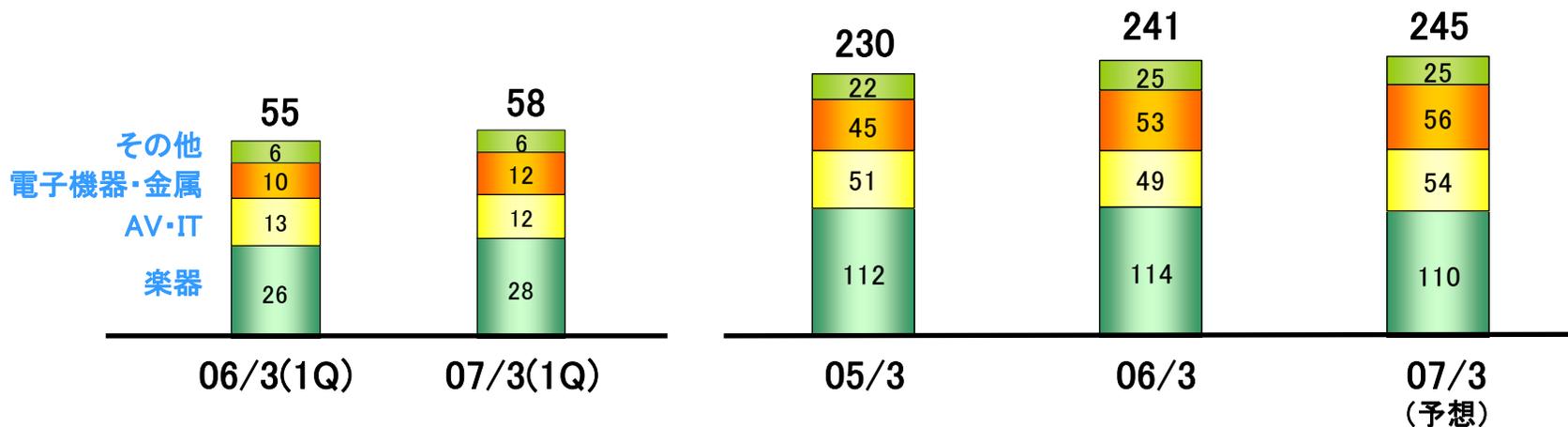
05/3末	289
05/6末	283
06/3末	276
06/6末	272
07/3末(予想)	263

通期設備投資・減価償却費/研究開発費

設備投資・減価償却費



研究開発費



予想貸借対照表



(億円)

	05/6末	06/3末	06/6末	07/3末
現金	356	364	294	385
預金				
売上債権	728	703	704	726
棚卸資産	847	779	845	737
他流動資産	224	248	264	253
固定資産	2,834	3,106	3,165	3,290
資産計	4,989	5,200	5,272	5,391
仕入債務	387	372	422	364
借入金	505	285	301	292
他負債	1,214	1,338	1,270	1,328
資本計	2,883	3,205	3,279	3,407
負債・資本計	4,989	5,200	5,272	5,391

2007/3期 1Q営業外損益、特別損益



	06/3(1Q)実績	07/3(1Q)実績	07/3 (1Q)当初予想
			(億円)
営業外損益			
持分法利益	53	64	39
金融収支	2	4	1
その他	▲ 8	▲ 9	▲ 7
計	+ 47	+ 59	+33
特別損益			
固定資産処分損益	7	1	0
その他	5	0	0
計	+ 12	+ 1	0
法人税他			
法人税等	29	26	5
少数株主持分	1	1	1
計	30	27	6

2007/3期 通期営業外損益/特別損益



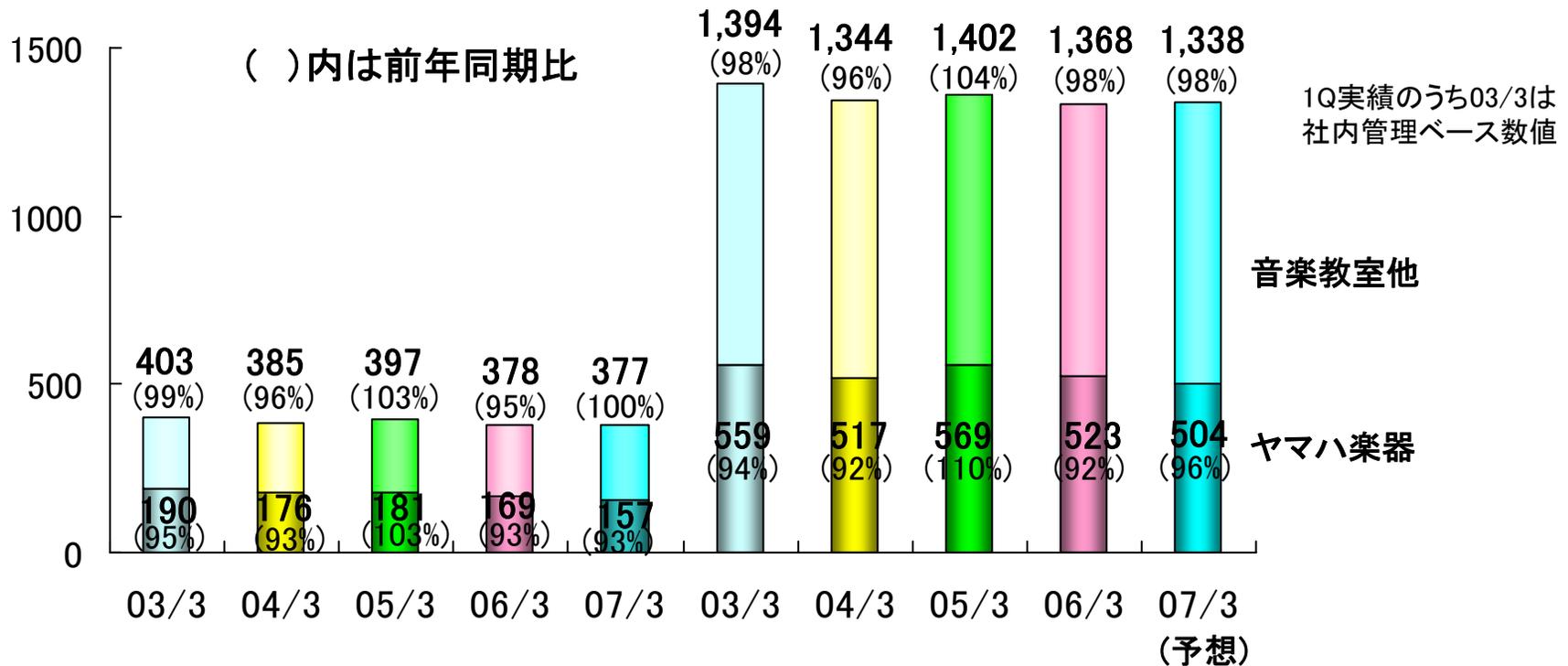
	05/3実績	06/3(実績)	07/3(予想)
(億円)			
営業外損益			
持分法利益	91	148	148
金融収支	▲ 3	▲ 2	▲ 7
その他	▲ 32	▲ 35	▲ 41
計	+ 56	+ 111	+100
特別損益			
固定資産処分損益	▲ 11	▲ 2	▲ 3
その他	▲ 67	8	3
計	▲ 78	+ 6	0
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 100px;"> ・代行返上益 199 ・投資有価証券損益 65 ・減損損失 ▲327 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 100px;"> 投資有価証券損益 5 </div>			
法人税他			
法人税等	134	72	64
少数株主持分	4	5	6
計	138	77	70

日本市場のヤマハ楽器販売状況



1Q売上高は、ほぼ前年同期並み。エレクトーンは引続き減少。
音楽教室在籍数増加で、今後の販売増期待。

(億円)



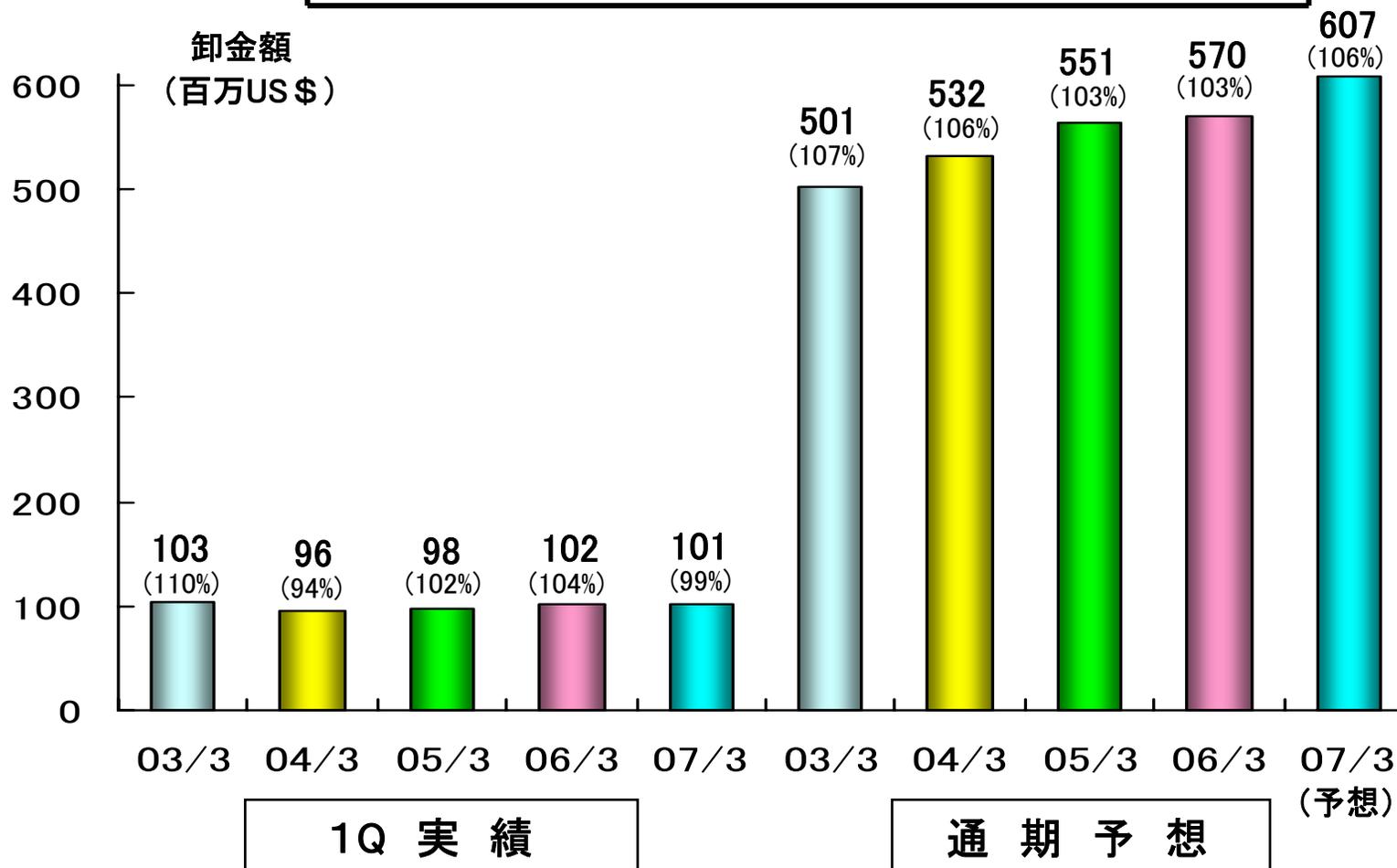
1Q 実績

通期 予想

アメリカ市場のヤマハ楽器販売状況



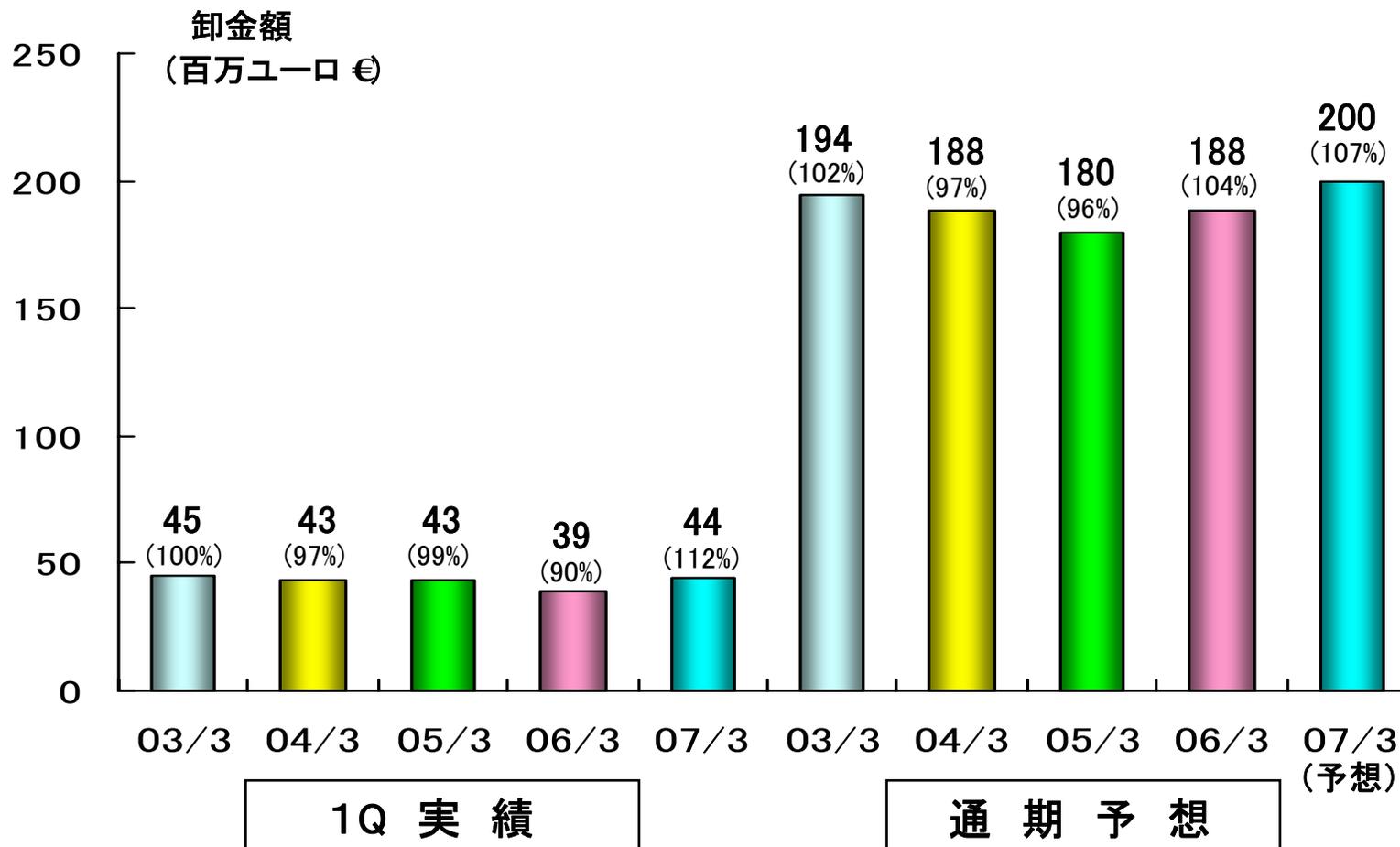
前期末の在庫処分影響でピアノ卸売は販売減少。
PAは4月からCA新会社の営業開始で、前年比131%と好調。
景気減速による小売市況低迷で流通在庫増加。



ドイツ市場のヤマハ楽器販売状況



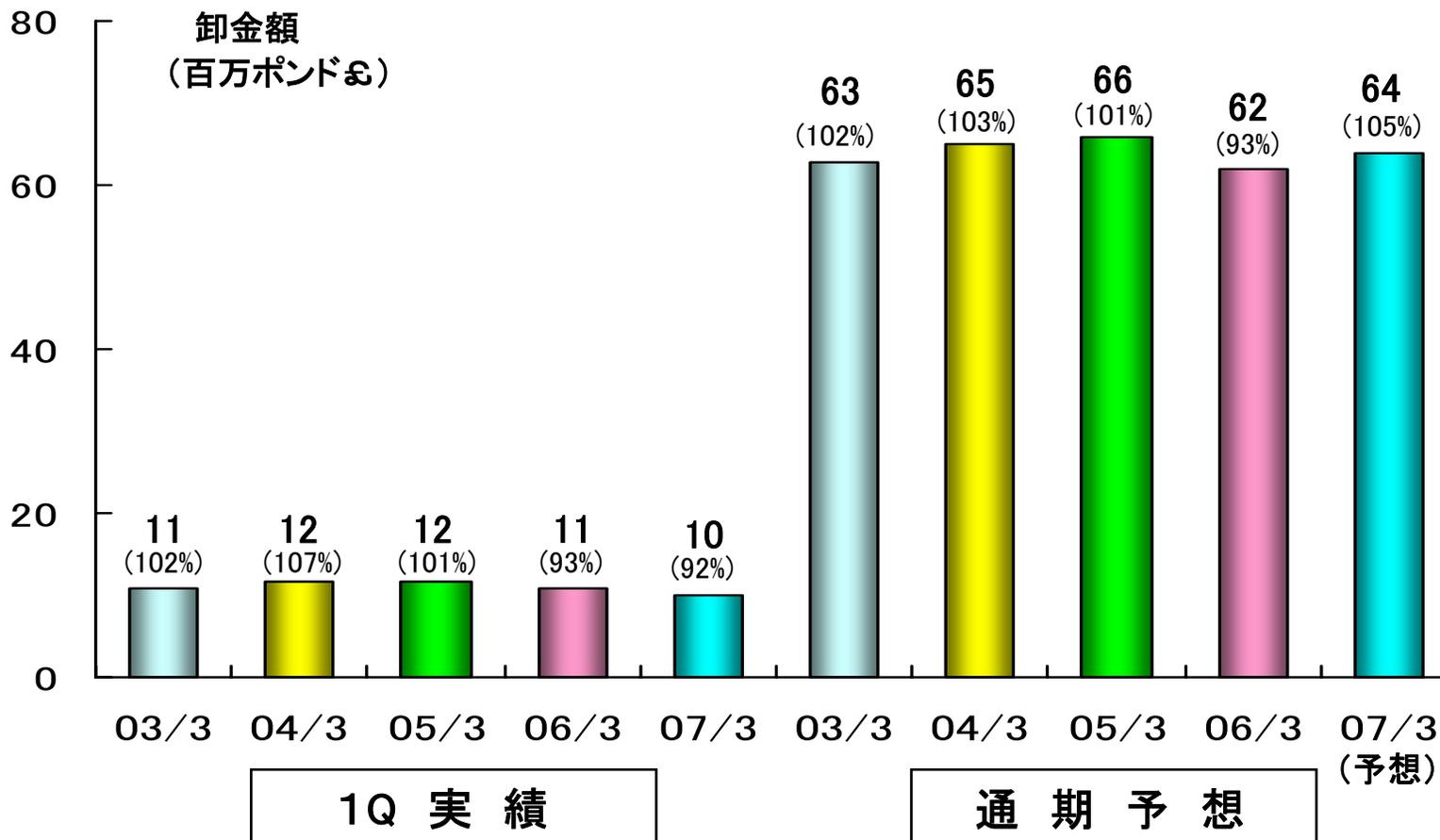
消費が全般に厳しさを増す中、ピアノと電子楽器は好調に推移。
PAも全般的に市況上向き傾向。



イギリス市場のヤマハ楽器販売状況



楽器市況は依然低迷。ピアノ・電子ピアノの新モデル出荷開始。
管楽器は7月より学校向け販売キャンペーンを開始し、売上挽回を目指す。

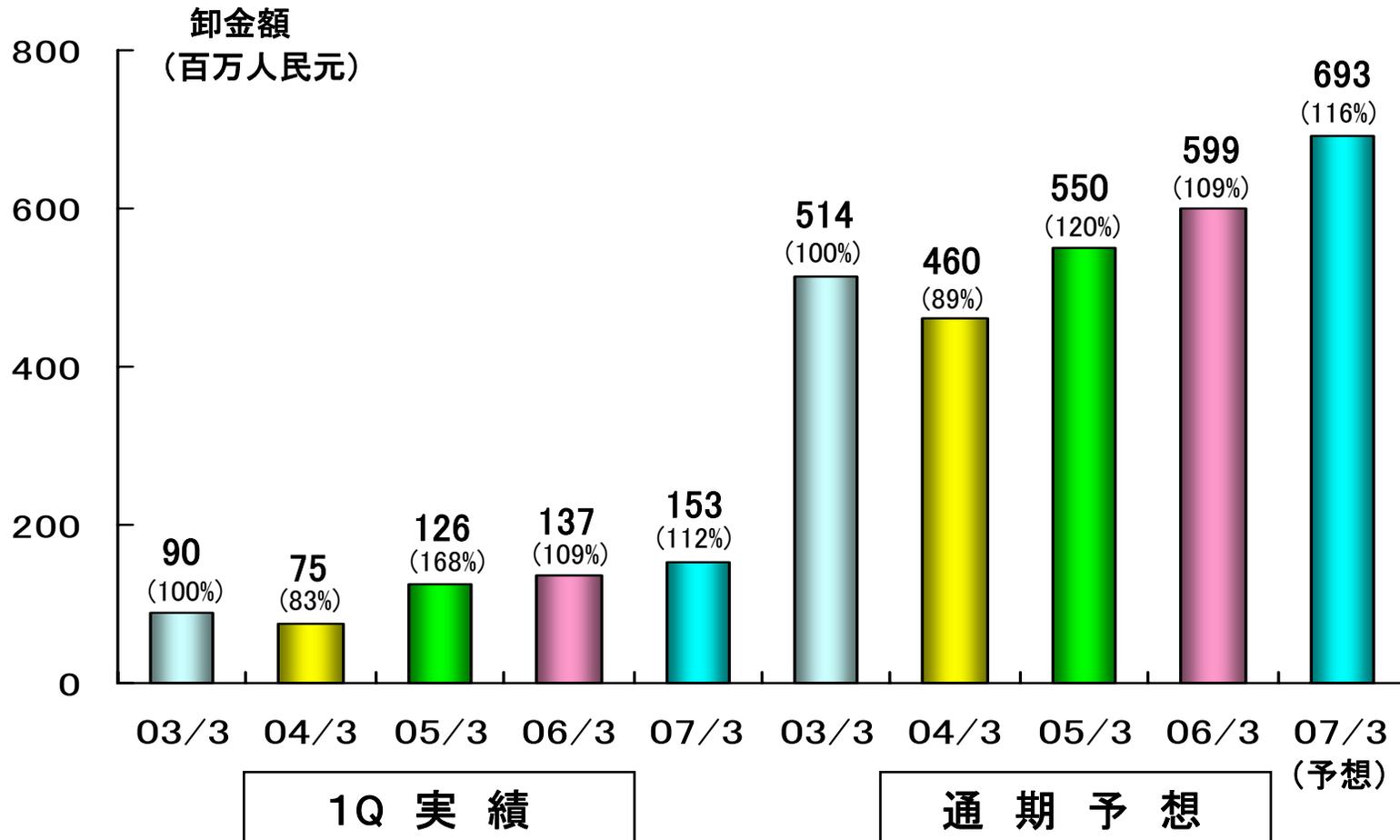


中国市場のヤマハ楽器販売状況



1Qは2桁成長。ピアノは大型入札が増え、学校販売を中心に伸張。

6月にショールームと工房を併設したヤマハミュージックコミュニケーションセンター北京を開設。



ホームシアター市場規模

(ホームシアターシステム+アンプ・レシーバー)

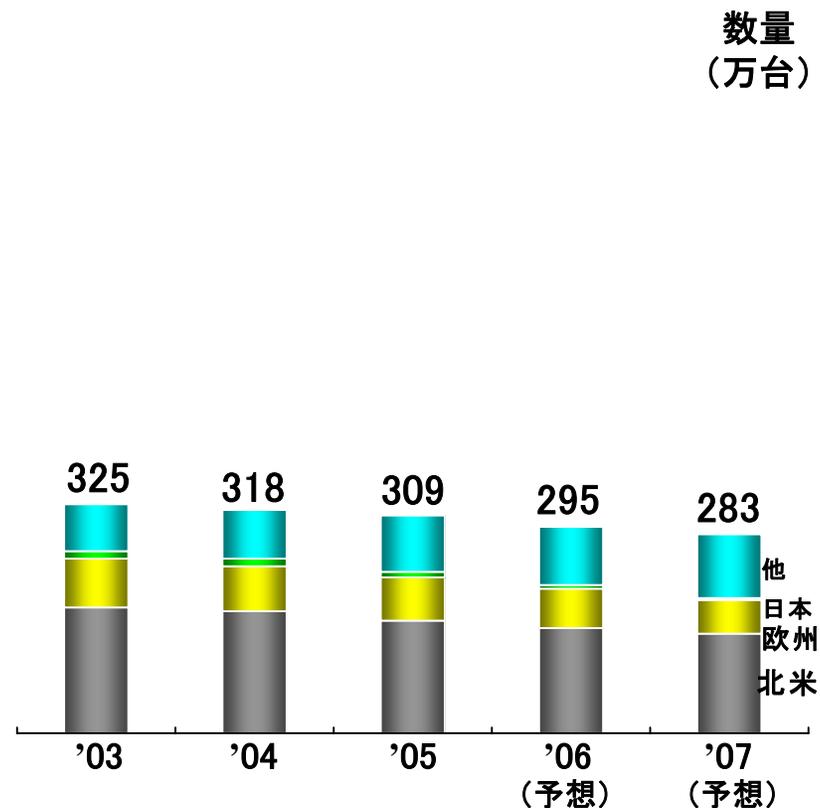
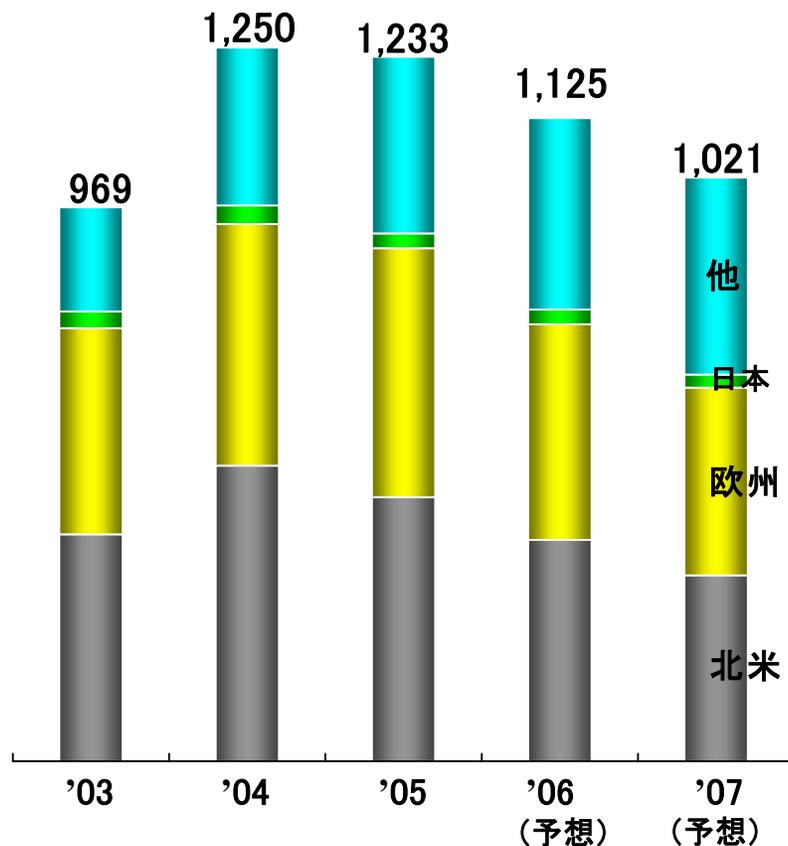


<ホームシアターシステム>

- ・市場は欧米中心に減少傾向（'06で1,100万台）
- ・北米：DVD内蔵型もHTiBも年率15%の減少傾向
- ・欧州：'06以後9割を占めるDVD内蔵型が減少に転ずる
- ・日本：'06は前年比7%の減少（25万台）
- ・その他：引き続きアジア、中・東欧市場で成長

<AVアンプ・レシーバー>

- ・全世界では年率約4%で市場縮小
- ・欧米：市場は縮小傾向
- ・日本：'06は対前年2割近く減少
- ・アジア、中国、東欧、ロシアで低価格品中心に市場拡大

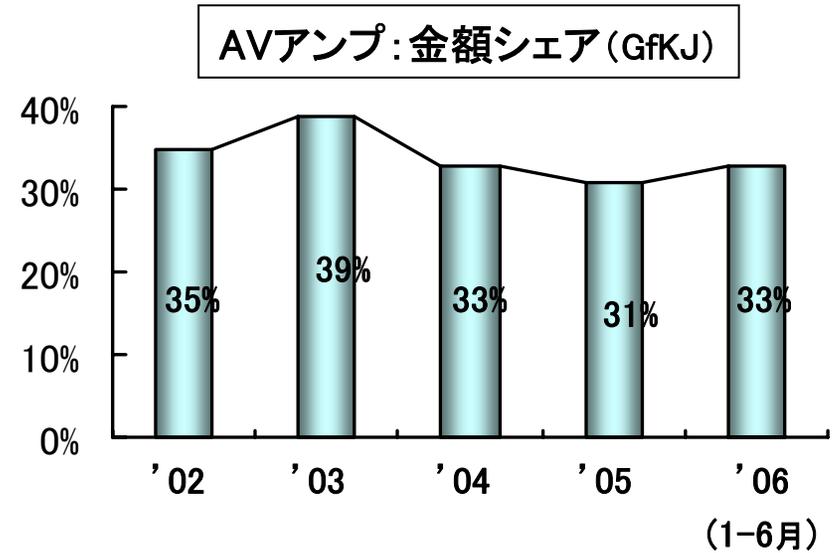
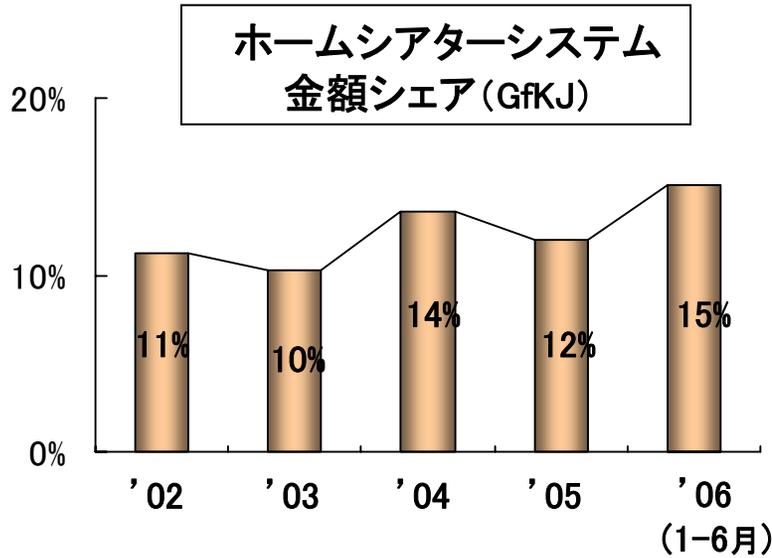


'06、'07の市場規模を下方修正

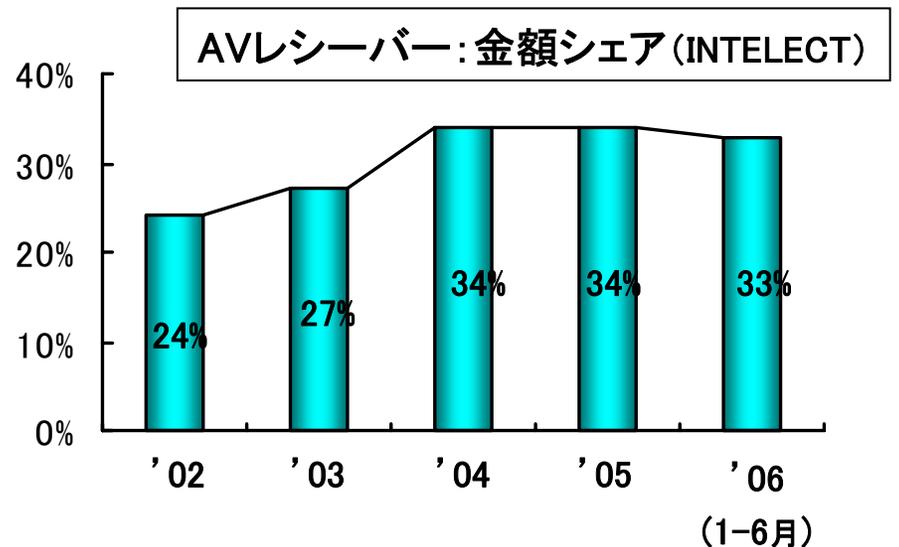
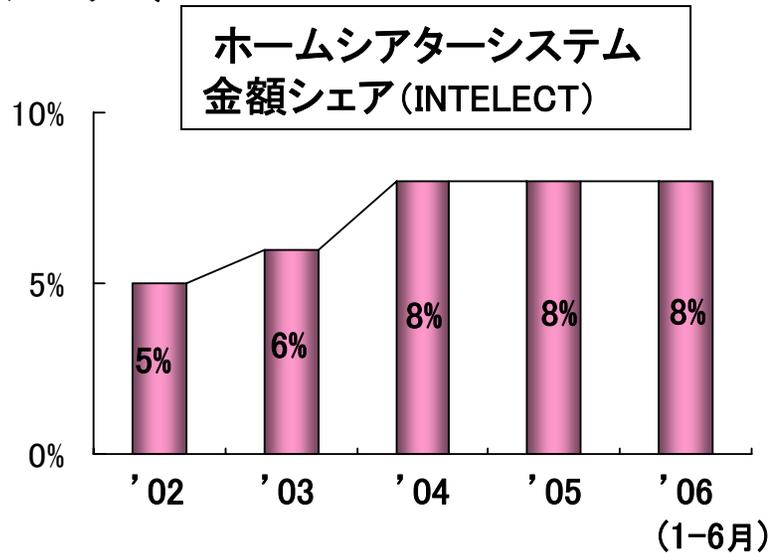
AV マーケットシェア



〈日本〉



〈アメリカ〉



この資料の中で、将来の見通しに関する数値につきましては、ヤマハ及びヤマハグループ各社の現時点での入手可能な情報に基づいており、この中にはリスクや不確定な要因も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向、米ドル、ユーロを中心とする為替動向等により、これらの業績見通しと大きく異なる可能性があります。